

安心安全の農業用重油タンクを 量産し、広く普及させる

課題

地震対策に有効な製品だが 資金、製造、販売に問題山積

株式会社松田鉄工は、経営者の父親である先代が、火葬場新設とメンテナンス等の孫請け企業として個人創業したのが始まり。農業用ハウスの加温用タンク製造も手がけてきた。東日本大震災時、農業用タンクからのオイル漏れによる2次災害の被災状況から、巨大地震対策用の漏れない重油タンクを設計開発して販売を開始。鋼板から加工する溶接技術力が最大の武器となっている。

課題は、農家が防油堤の設置も義務付けられていて、負担総額は100万から120万円にも上る。量産化して価格を下げたいがオイル漏れを防ぐ緊急遮断弁および制御盤が手作業で生産されているため、納期およびコストがかかっている。開発にあたり、実用新案を登録したが効果はなく、競合企業が出てきたことにも頭を悩ませていた。

資金繰りが厳しいため、材料購入にも苦慮していた。東南海トラフ巨大地震対策として、西日本の沿岸地域に数多く分布している園芸農家にタンクを販売する計画だったが、生産能力に限界があるため、なかなか進まなかった。

支援

運転資金調達から 販路拡大まで

こうして同社は毎年100万～150万の赤字を計上。借入金も年商を超え、有利子負債が増加し続けて経営破たん寸前だった。ただし、熱意と接合技術は親子とも優れており、開発資金・開発後運転資金の調達が課題だった。

そこで、香南市商工会の支援のもと、高知県の試作開発型ものづくり補助金にエントリー。簡易型の重油タンクをつくるノウハウを活用し、2度の補助金活用で試作が完成した。類似商品対策として専門家・弁理士と相談し、特許出願を行った。次に経営革新計画の承認を目指すとともに、県防災商品登録を行い、続けて承認された。これがきっかけで県農業試験場にプロトタイプを導入した。

販路については、JA全農高知を窓口として販売するよう交渉に同行。契約前に取扱説明書の提出を求められ、商工会で作成支援したものをJA全農高知に確認してもらい契約締結となった。

次に、高知県沿岸地域の農業用ハウスの加温用重油タンク



開発した新型のタンク

の基数をリサーチし、10年計画で入れ替える目標と、西日本地域の重油タンクも視野に入れて事業を拡大する計画を作成。高知県農業振興部と協議し、園芸農家の負担を軽減する施策づくりを依頼。県知事の働きかけもあり、国、県の補助金を投入させることで、比較的低額で購入できるようになり、普及率が向上した。新事業成功による事業再生の契機は事業承継支援にもあった。先代から長男へのバトンタッチで機動力を発揮させ、株式会社化により信用力を高めた。

支援の経過

期間	支援内容
H24年10月	ヒアリング開始
H25年2月	経営革新計画の策定支援（9月承認）
4月	販路開拓支援、ものづくり補助金の申請支援
5月	ものづくり補助金の承認、県防災商品認定
H26年6月	第12回新機械振興賞エントリー（12月受賞）

会社概要

会社名：株式会社松田鉄工
住所：高知県香南市香我美町徳王子3309-2
電話番号：0887-55-0256
URL：<http://matsudatekko.com/>
代表者名：松田裕一
創業年：昭和63年（法人設立は平成25年）
従業員数：3名
商工会名・担当者名：香南市商工会・石丸法正